

令和5年度公益社団法人島根県水産振興協会事業計画（案）

（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

◆基本方針◆

- （1）県栽培漁業基本計画に沿って、県下6地域に組織された水産振興部会と連携し、中間育成・放流事業の実施にあたるとともに放流効果実証事業の適切な推進を図る。
- （2）栽培漁業センターの効率的・効果的な管理運営の実施にあたる。
- （3）沿岸漁場の生産性を高めるため、漁場保全調査と各種種苗の放流を行うとともに養殖漁業の振興にあたる。
- （4）栽培漁業推進ファンドの運用益により、積極的に本県の栽培漁業推進にあたる。
- （5）島根県の水産業の発展に資するため助成事業他各種事業の実施にあたる。

◆事業計画の概要◆

1 沿岸漁場整備開発促進等事業

- （1）漁場の有効利用にかかる調査や放流種苗の追跡調査並びに管理方法等について必要な調査を実施する。また、漁場保全にかかる広報活動等を実施し、沿岸漁業振興の推進を図る。
- （2）会員や関係団体から受託した調査事業等を実施する。
- （3）本県水産業の発展を図るため、各種漁業振興のための助成事業を実施するとともに海難遺児に対する育英資金の給付を実施する。
- （4）将来の担い手となる新規漁業就業者の確保・育成のためU・Iターン希望者をはじめ漁業就業希望者に対し、本県水産業のPRや漁業就業の情報提供を行うとともに、漁業就業相談及び雇用就業推進のため無料職業紹介事業を実施する。【NEW】

○沿岸漁場整備開発等事業計画

事業名	事業内容
漁場保全事業	◇磯焼け対策調査事業 ウニの回収や身入り改善試験、岩盤清掃等を行う。 ◇会員、県等からの委託に基づき、沿岸域の漁場調査を行う。
受託事業	水産環境整備事業利用状況調査業務（島根県） 種苗放流による資源造成支援事業
助成事業	助成事業実施規程に基づき選考された事業に対する助成（公募） 海難遺児育英資金給付
担い手対策	漁業就業ワンストップ窓口（担当者）の設置（島根県委託事業）及び 無料職業紹介事業【NEW】 漁業就業者支援フェア 2023へ参加： 7/8 福岡 7/17 東京 7/22 大阪

2 中間育成・放流事業

令和4年策定された島根県第8次栽培漁業基本計画に基づき、県下6地域の水産振興部会と連携しながら、マダイ、ヒラメ稚魚の中間育成及び放流を実施し、積極的に資源の回復、漁業生産の増大を図る。

また、マダイ、ヒラメの放流効果を調査するため、当該魚種が水揚げされる漁港等において放流魚の確認調査を行う。

(事業費には、海づくり協会補助金、県交付金、地元負担金、栽培漁業推進ファンドの運用益を充当)。

○中間育成・放流計画

魚種	育成場所	中間育成		放流		備考
		数量 (尾)	大きさ (ミリ)	数量 (尾)	大きさ (ミリ)	
マダイ	隠岐島前	300,000	35	270,000	80~100	
	隠岐島後	250,000	35	225,000	80~100	中間育成は西ノ島町
	出雲東部	100,000	35	90,000	80~100	
	合計	650,000		585,000		
ヒラメ	出雲東部			44,600	50	
	出雲西部			36,500	50	
	石見東部			89,200	50	
	石見西部			129,700	50	
	合計			300,000		

○ヒラメ種苗の育成、放流 **【NEW】**

- ① 栽培漁業センターにて採卵から、放流サイズまで種苗の育成を一貫して行う。
- ② 活魚トラックもしくは漁船等の傭船により、各地域の育成適地と考えられる海域へ放流を行う。

○キジハタ、ナマコ等の放流試験 **【NEW】**

- ・第8次栽培漁業基本計画において、新たに放流することが適当な魚種かつ地域で要望の強い魚種(候補:キジハタ、ナマコ等)について、各地域部会の地先にて放流試験を行う。

3 栽培漁業センター事業（島根県委託事業）

- (1) 健苗性の高い放流用種苗、養殖用種苗を生産する。
- (2) 生産した種苗の出荷・引き渡しを速やかに行う。
- (3) 種苗生産施設、機器、調査船、公用車の適切な維持管理を行う。
- (4) 中間育成施設において、放流用種苗の健苗性、疾病の有無、成長状況の確認及び技術指導を行う。
- (5) 島根県が行う水質環境等の調査等に協力する。

○種苗生産計画

区分	種類	規格	数量	生産時期
放流用	マダイ	平均全長 35 mm	650 千尾	4 月～7 月
	ヒラメ	平均全長 50 mm	300 千尾	1 月～6 月
養殖用	イワガキ	コレクター 1 枚当たり 10 個以上付着	11 万枚	5～12 月

※イワガキの数量については、養殖業者の要望数により変動する可能性がある。

4 種苗供給事業

栽培漁業の推進、養殖漁業に必要な各種の種苗の斡旋、配付を行う。

○種苗斡旋計画

種苗名	規格	予定数量	供給先
キジハタ	平均全長 80 mm、100mm	35,000 尾	3 団体
カサゴ	平均全長 100 mm	15,000 尾	1 団体
アカアマダイ	平均全長 70 mm	4,000 尾	2 団体
クエ	平均全長 130 mm	15,000 尾	2 団体
クロアワビ	平均殻長 30 mmから	161,000 個	10 団体
メガイアワビ	平均殻長 30 mmから	18,000 個	2 団体
イワガキ	採苗器 1 枚に 10 個以上付着	110,000 枚	30 団体
アカウニ	平均殻径 20 mm	40,000 個	4 団体
鳴門ワカメ	1 枠 17m	200 枠	3 団体
コンブ	1 枠 50m	2 枠	1 団体
ナマコ	平均全長 10mm	78,000 個	3 団体
オキアサリ	大型	100kg	1 団体

○種苗生産事業試験（直営）

①ワカメ

- ・フリー配偶体の生産。
- ・令和5年度についても、生産した種苗（種糸）は、養殖におけるワカメの生長記録等を協会に報告することを条件に無償で提供し、センターで生産する種苗の品質を確認する。
（R4は、隠岐島後2枠、隠岐海士37枠を無償配付）